

灯の回廊「うらがわら雪あかりフェスタ」



旧東頸城地域の総延長約 60km の道路や雪中にろうそくを灯すイベント「灯の回廊」が 2 月 25 日に開催されました。当施設もご利用者の皆様に楽しんでいただくこと、駐車場内の雪の壁等に約 100 本のろうそくを灯しました。日が落ち、暗くなるにつれ浮かび上がってくる炎の幻想的な明かりをご覧になられたご利用者の皆様から「ばかきれいだったじゃ〜」とたくさんの好評をいただきました。来年もご利用者の皆様、地域の方々に喜んでもらえるものを作りたいと思っています。



花みずき

平成 29 年 2 月号

-発行-
介護老人保健施設
保倉の里
保倉の里診療所



季節の変わり目を告げる「節分」

昔は『せち分かれ』と言って、季節の分かれ目である立春・立夏・立秋・立冬の前日を節分と言いました。しかし、現在では、冬から春になる立春の前日、2 月 3 日だけが節分として残りました。そして、季節の変わり目には邪気(鬼)が生じると考えられており、それを追い払うために豆まきを行いました。なぜ豆を投げるようになったのか? 「魔を滅する=魔滅=まめ」という説もあるそうです。一年間の無病息災を願い、ご利用者の皆様は力いっぱい豆を鬼に投げつけておられました。さぞかし鬼は痛かったでしょうが、ご利用者の皆様の為に奮闘していました。



普通救命講習

急病をはじめとする救命救急を要する事象が発生したとき、その現場に居合わせた職員が適切・迅速な応急処置を行うことで、傷病者の救命率が高まります。老健施設で働く職員にとって救命法の取得は欠かすことができません。先日、東頸消防署よりご協力いただき、心肺蘇生法・AEDの使用手順等の講習会を開催しました。



職員研修会

事故対策・安全管理について

「事故対策・安全管理・事故報告書」の理解を深めることを目的とした研修会を開催しました。研修の前半は、リスクマネジメントにおけるPDCAサイクル、SHEL分析についての講義を行い、後半は過去の事例をもとに事故報告書の作成訓練を行いました。事故原因を十分に分析し、多角的な視点で対応策を考えることで、今後もより一層、事故対策、安全管理に努めてまいります。



限定的面会の

ご協力について

12月1日よりインフルエンザ感染の予防の為、面会を限定的なものとさせていただき、基本的に面会をご遠慮いただいております。特別な理由がある場合に限り、**インフルエンザの予防接種をされた方**のみが面会が可能ですので、事前に予約の連絡を当施設までお願いします。解除につきましては、地域のインフルエンザの発生状況等を踏まえ、お知らせをいたします。ご不便をおかけしますが、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

ご寄附・ご慰問の紹介

[物 品]・渡邊哲雄様 ご家族 ・山崎ハツイ様 ご家族 ・吉川保育園

上記の方からご寄付いただきました。
厚く御礼申し上げます。

相談（苦情・意見）について

当施設におきましては、受付担当者、解決責任者、第三者委員を置き、利用者・ご家族からの相談(苦情・意見)に対応させていただきます。

解決責任者 施設長 高橋 規一(理事長)
受付担当者 支援相談員 内山 裕
第三者委員 横山和雄 (025-599-3329)
布施一郎 (025-594-3466)

発行



社会福祉法人くびき社会事業協会

介護老人保健施設保倉の里

TEL:025-599-3990/FAX:025-599-3991

保倉の里診療所

TEL:025-595-3123



URL: www.kubiki-sjk.or.jp